

◆ 住まいを考えたときのチョット情報 ◆

こだわりの住まいを建てたいなら・・・

設計士の心理を知って、設計士をうまく活用しちゃおう。・・・の巻

楽しく・居る・空間
あなたの空間づくりをお手伝いします

楽居空

こだわりの住まいを建てる時、まず要となるのが設計士です。

設計士は、お客様の味方だ！といっても仕事ですから、スムーズに事を運ばせたいという心理は働くはずです。

そこで、設計士が何を考えて行動しているのかをとらえて、こだわりイメージをしっかりと伝えることが大事だということなんです。

ここからは、お客様にぜひわかってもらいたいことをお話しします。

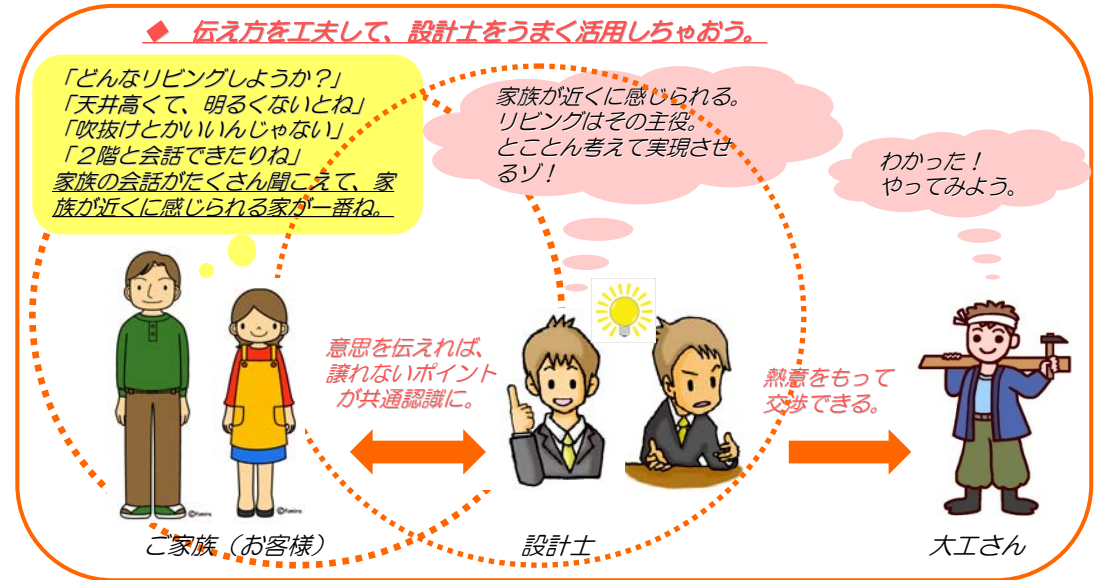
その1：お客様の思いは何よりも強い。

「〇〇のイメージは□□だ！」とこだわりイメージを告白しましょう。こだわりイメージを明確にすることが設計士を本気にさせますし心に残ります。

その2：設計士に納得いくまで、イメージを伝えましょう。

「こだわりイメージ」を詰めていくと「譲れないポイント」が見えてきます。こだわりイメージが実現されず、メリハリのない住まいにならないためにも、設計士に納得いくまで伝えましょう。

設計士の心理を知って、うまく活用しちゃいましょう。



◆ 設計士の心理は、スムーズに事が進むように、中立的な立場でバランスを取ろうとします。

こだわりイメージは抜け落ちてしまい、無難な設計とコストバランスだけで住まいが出来上がることになり兼ねません。

こだわりイメージがぼやけたままなので、無難に設計しちゃおう。

なぜなら人の好みは決められないからね。

平均的な住まいにしておけば、コストのずれも最小限に抑えられるしなあ。

お金のことは視野におかないとね。

お客様の思い

- ・どんな建物になるか、なんだかイメージがぼんやりしてるなあ。
- ・予算金額オーバーしないかな？

大工さんの思い

- ・設計士が言うからそのとおり工事するけど、お客さんはイメージわかってるのかな？
- ・採算とれるかな？



お客様にお聞きすること（抜粋）

- ・お客様の生活スタイルは？
- ・住まいのデザインイメージは？
- ・住まいのこだわりポイントは？
- ・住まいの性能や機能性は？
- ・住まいの建材設備の仕様は？
- ・建築法規はクリアできるか？
- ・工事費はいくらかかるの？
- ・支払い時期・回数は？
- ・工期スケジュールは大丈夫？

こだわりイメージがぼやけたままだけど・・・いざ設計

設計士